

## ■飯南町総合振興計画語句説明

見出し	語句	語句説明
あ行	異世代交流	子どもから高齢者まで、自分とは異なる世代の人と交流すること。
	一次医療	入院や手術までは必要としない医療、つまり外来ですませることのできる医療のこと。
	エコファーマー	堆肥等の土づくりを基本として化学肥料、化学農薬の使用量を低減するための生産方式(持続性の高い農業生産方式)を自分の農業経営に導入する計画を立て、県知事に申請し、認定された農業者の愛称。
	NPO	Non Profit Organizationの略で民間非営利団体のこと。「まちづくり」「障害者や高齢者の福祉」「川や森林の愛護」などを目的に、身近なところで行われている活動団体のこと。活動を行いやすくするため、法人格を取得する団体が増えてきている。
	オゾン層	地上25km～45kmにあるオゾンの密度が高い層のこと。
か行	カリキュラム	教育目標を達成するために各学校が行う教育活動全般を指す。具体的には、目標、内容、指導計画、指導方法、教材・教具、児童生徒の学習活動そして評価という一連の教育
	協働	活動を総合化したもの。 住民・事業者・行政が、それぞれの役割と責務を明らかにし、協力・連携してまちづくりを進めていくこと。
	CATV	ケーブルテレビのこと。視聴者宅まで、光ファイバーや同軸ケーブルを用いてテレビ番組の送信を行う放送携帯のこと。双方向性も持っているため、これを利用したインターネット接続も可能である。
	国民保護計画	指定行政機関、都道府県及び市町村が、それぞれ実施する国民の保護のための措置の内容及び実施方法などに関して国民保護法に基づき定める計画。
	高度情報化	近年飛躍的に発展している情報通信技術を最大限に活用し、行政事務の効率化及び高度化並びに市民サービスの向上並びに地域の振興を行うこと。
	コーホート変化率法	コーホートとは同じ年(又は同じ期間)に生まれた人々の集団のことを指し、コーホート変化率法とは各コーホートについて、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。
	コミュニティ	居住地や関心を共にすることで営まれる共同体
	コミュニティ・ビジネス	市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、またコミュニティの再生を通じて、その活動の利益を地域に還元するという事業のことの総称。
さ行	三次医療	大学病院のような特定機能をもった病院で治療を受けること。
	三位一体改革	地方分権に向けた改革のことで、①国から地方へ支出される補助金(国庫補助金負担金)の削減、②国から地方への税源の移譲、③地方交付税の見直しの3本柱を同時並行的に進めていくこと。

見出し	語句	語句説明
さ行	出生率	1人の女性が生涯に産む子どもの数の平均のこと。
	循環型社会	環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、それを有効に使うことによって廃棄されるものを最小限に抑える社会のこと。
	省エネルギー	エネルギーを効率的に使用することによってより少ないエネルギーで大きな効果を上げること。
	新エネルギー	現在エネルギーの主力として利用されている石油などの化石燃料や原子力に対し、新規に発見されたり、技術進歩により見直されるようになったエネルギー資源のこと。 太陽光発電、太陽熱利用、風力発電など。
	森林セラピー	森林の地形や自然を利用した医療、リハビリテーション、カウンセリングなど、森林環境を総合的に使いながら健康を増進していく取り組み。
	そばスプラウト	スプラウトとは植物の新芽のこと。そば粉としてはもちろん、スプラウト（かいわれそば）用としても利用可能で、栄養価の高い種。
	ソーラーシステム	太陽の熱を利用して 冷暖房や給湯を行うシステムのこと。
た行	第1次産業就業者	農業、林業、漁業に従事する人。
	ダイオキシン	「塩素」「水素」「炭素」「酸素」が結びついた化学物質で、毒性の強い、自然界で分解されにくい化学物質のこと。
	体験交流ツーリズム	既存の地域資源や住民との交流・体験を通じて、地域の生活や空間を楽しむ旅行。緑豊かな農村地域において、その自然・文化・人々との交流を楽しむ「グリーンツーリズム」などがある。
	第2次産業就業者	鉱業、建設業、製造業に従事する人。
	第3次産業就業者	電気・ガス・熱供給・水道業、運輸・通信業、卸売・小売業、飲食店、金融・保険業、不動産業、サービス業、公務に従事する人。
	団塊世代	1947年～49年生まれのことで、2007年から定年を迎える世代のこと。
	地域包括支援センター	基本的な機能として、①地域支援の総合相談 ②介護予防マネジメント ③包括的、継続的マネジメントを実施。
	地上デジタル放送	衛星放送ではなく地上の放送塔から電波を送る「地上波」を使ったデジタル放送のこと。
	地方分権	国と地方との役割分担を明らかにし、それぞれの地域で自主的・個性的なまちづくりを進めていこうというもの。国にある権限や財源を市町村や都道府県に移したりすること。
	地球温暖化	地球の表面気温が上昇して気候が変わってしまう現象のこと。

見出し	語句	語句説明
た行	地理情報システム (GIS)	Geographic Information Systemsの略。地理情報を蓄積し、統合的に処理、分析、表示するシステム。
	データベース	相互に関連するデータを蓄積したもの。特にコンピュータを使って、情報や資料を収集・分類・整理し、多目的に利用できるように工夫された統合化ファイル。
な行	生業景観	産業が生み出す景観のこと。
	二次医療	初期救急医療体制では対応できない、入院・手術などの治療を必要とする、主に重症救急患者の医療を担当する医療機関のこと。
は行	バイオマス	エネルギーや原料に使うことができる動植物資源、及びそれらを起源とする廃棄物の総称。
	パートナーシップ	市民・事業者・行政が、それぞれの役割と責務を明らかにし、協力・連携してまちづくりを進めていくこと。
	パブリックコメント制度	行政機関などが政策立案にあたり、広く住民に素案を公表し、それに対して出された意見・情報を考慮して最終決定を行う制度。
	晩婚化	世間一般の平均初婚年齢が以前と比べて高くなる傾向のこと。
	不法投棄	山林や原野、空き地、道路にみだりにゴミを捨てる行為。
	防災マニュアル	災害時の対処方法などが記載されている文書のこと。
	ボランティア	自分の意思で自発的に奉仕活動を行う人。
ま行	マネジメント	経営や運営について、組織だって管理すること。
や行	Uターン	Uターン：出身者から地域外へ進学や就職のため都会に出た後、出身地に戻ることに。Iターン：出身地にかかわらず、住みたい地域を選択し、移り住むこと。
ら行	リハビリテーション	障害者や事故や病気の後遺症を持つ人等に最大限の機能回復と社会復帰を目指して行われる総合的な治療と訓練のこと。
	リピーター	繰り返し来る人のこと。